

**製品名: 代謝型グルタミン酸受容体 2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00138**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 96 kDa; Observed MW: 95,200 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GRM2
別名	GRM2; GPRC1B; MGLUR2; Metabotropic glutamate receptor 2; mGluR2; GRM3; GPRC1C; MGLUR3; Metabotropic glutamate receptor 3; mGluR3
遺伝子 ID	2912
SwissProt ID	Q14416
免疫原	ヒト代謝型グルタミン酸受容体 2 の合成ペプチド

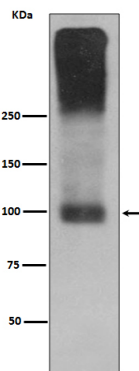
**背景**

グルタミン酸に対する G タンパク質共役受容体。リガンド結合により構造変化が引き起こされ、グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (G タンパク質) を介したシグナル伝達が誘導され、アデニル酸シクラーゼなどの下流エフェクターの活性が調節される。シグナル伝達はアデニル酸シクラーゼの活性を阻害する。神経伝達の抑制を媒介するか、シナプス形成またはシナプス安定化に関与している可能性がある。

## 研究分野

神経科学

## 画像データ



代謝型グルタミン酸受容体 2 抗体を使用したマウス脳溶解物中の mGluR2 のウエスタンブロット分析。